

テーマ 地域で支える認知症

2019年 7月28日(日)10:00~14:50 (受付 9:30~)

会場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 国際会議場 定員300名 参加費500円
対象：市町村・保健所・地域包括支援センター、医療福祉介護分野の地域リハ関連職種など

講演

「これからの認知症対策～共生と予防に向けて～」

講師：浦上克哉 先生

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野 教授



【講師紹介】

主要な研究テーマは認知症および関連疾患で、早期診断のための検査法の開発から予防法まで幅広く活躍されています。認知症の早期発見のためのスクリーニング機器「もの忘れ相談プログラム」を開発され、現在多くの臨床・介護現場で幅広く利用されています。偏見の強い認知症に対して、医師・介護者・市民向けへの啓発活動にも取り組まれ、「NHKスペシャル」「あさイチ」「ためしてガッテン」「チョイス」「NHKキャンペーン」「たけしのみんなの家庭の医学」「主治医のみつかる診療所」「駆け込みドクター」「サタデープラス」他多数のテレビ番組に出演し、啓発活動に取り組まれています。

シンポジウム

高齢運転者をどう支援する？

～活動・参加を維持し地域でいきいきと暮らすために～

- シンポジスト
- ①衛藤 文彦 氏 大分県警本部 交通部 運転免許課 講習補佐
 - ②建木 健 氏 NPO法人 えんしゅう生活支援net/作業療法士
 - ③宮田太一郎氏 さわか九州1ブロックインストラクター/社会福祉士
国東市生活支援コーディネーター

高齢者人口の増加などを背景として、75歳以上の運転免許保有者が10年前と比較して倍増しており今後更に増加することが見込まれています。自動車運転については困りごとの一つに認知機能低下が社会的に話題となっており、近年ではメディアに取り上げられることも多く、その対策は喫緊の課題とされています。大分県でも高齢者にとっての移動手段は切実な問題であり、免許を失うことによる困りごとは多い状況です。今回のシンポジウムでは高齢運転者を取り巻く様々な課題についていろいろな角度から発表頂き、意見交換ができればと思います。

後援 NHK大分放送局 OBS大分放送 TOSテレビ大分 OAB朝日放送 大分合同新聞社 ゆふいんラヂオ

大分県委託事業：主催 大分県リハビリテーション支援センター 共催 大分県地域リハビリテーション研究会

お問い合わせ

大分県リハビリテーション支援センター 事務局 西ノ園・會川
〒879-5193 由布市湯布院町川南252 JCHO湯布院病院内 TEL0977-84-3171 FAX0977-85-5880